

自分なまじやめる、テーマのある旅

旅

Tubisaki



右上 / LEDの光に彩られた「舞のれん(?)」をくぐって客室へ。24色ものバリエーションがあり、光の色が刻々と変わりゆく
 右中 / 人工の淡い光で照らされた廊下とは打って違って、自然光を十分に採り込んだ明るいラウンジ。朝はアールグレー、夜はリラクスティーをセルフサービスで楽しめる
 右下 / 朝食はホテルの隣にあるスタイリッシュな「ホワイトバー」でサービスされる。全土曜はDJが入り、夜遅くまで賑わう
 左 / XXLの部屋は中庭に面したバルコニー付き。天井と床の部分は、1900年頃に建てられたオリジナルの建築をそのまま使っている。ホテルとしては2006年にオープン。ランプラス通り界隈に、もう1軒建てる予定だ

D A T A

住所: Princesa, 50
 ☎932-954-652
 FAX: 932-954-653
 アクセス: メトロ4号線Jaume I駅より徒歩約8分
 客室数: 31室
 室料: MS€90、ME110、LE135、XL€160、XXL€180(季節により料金の変動がある)、朝食€8
 施設・サービス: レストラン
 クレジットカード: AMV
 www.chicandbasic.com

た廊下に導かれる。赤、緑、青、刻々と変わるLEDに染まる長いロープが、客室の入口の目印だ。中に入ると今度は真っ白な空間。白を選んだのは、客が自由に色づける「スクリーン」をイメージしたからだという。クローゼットの代わりに衣装ケースを置くなど、室内のパーツも好きなように配置変えできる。携帯型音楽プレイヤー用のコネクタもあり、持参した音楽を流すことも可能だ。

このホテルにはスイートルームがなく、MからXXLまで洋服のようにサイズで部屋を分けているのもユニーク。あまりに豪華すぎて落ち着かない部屋よりも、居心地がよく親密感を感じられるシングルな部屋をめぐらしたという。

アメニティはマヨルカ産アーモンドとハチミツを使ったシャンブーに石鹸をセットしたもので、「ウェルカムバック」と書かれた紙袋に入っている。持って帰る人が多いので最初から持ち帰り用の袋をつけてしまったというわけ。粋で気の利いたサービスもうれしい。バルセロナの隠れ家ホテルだ。